

令和2年度

「運営に関する計画」

(中間評価)

大阪市立豊新小学校

令和2年10月

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】 全市共通目標 ○令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○令和2年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上(H28:87% H29:93% H30:90% R1:93%)にする。 ○令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 いじめのアンケート調査を定期的に(学期に1度)実施し、当該児童からの聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していく。	B
指標 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 社会や集団生活でのルールを守ることを日常的に全教職員で指導する。	B
指標 令和2年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上(H28:87% H29:93% H30:90% R1:93%)にする。 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。	
取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有し、個別支援を行う。	B
指標 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① いじめアンケートでの聞き取りやいじめ事案の発見を適宜行うことで、必ず児童から聞き取りを行い、個別対応している。 ② 職員会議や生活指導部会等で学校の決まりを再確認・共通理解することにより統一した指導を行うことで、学校アンケートの「学校の決まりを守って学校生活を送っていますか」で93%となり目標を上回っている。 ③ 保護者、学校や学年全体、区役所やスクールカウンセラー等の機関とも連携を図り、個別支援を行っている。引き続き継続して支援を行うようにする。	

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 <u>学校の年度目標</u> ○心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（音楽鑑賞）ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施する。 ○令和2年度の校内調査における「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上（H28:83% H29:83% H30:85% R1:83%）にする。	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。 <hr/> 指標 年間行事計画に基づき、芸術鑑賞行事、3～6年生で社会見学を実施する。 令和2年度の校内調査における「自分には良いところがある」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上（H28:83% H29:83% H30:85% R1:83%）にする。	C
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 社会見学はできない状況であるが出前授業等の取り組みを進めている。学校アンケートの「自分には良いところがありますか」の項目で肯定的に答える児童の割合は80%と目標を下回っている。一人一人の良さやできたことに対してほめる等によって、自尊感情を高める取り組みを引き続き進めていく必要がある。	

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 <u>学校の年度目標</u> ○令和2年度の校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合を86%以上（H28:84% H29:86% H30:83% R1:88%）にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学級文庫の充実ならびに図書室活動の活性化図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。 <hr/> 指標 令和2年度の校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合を86%以上（H28:84% H29:86% H30:83% R1:88%）にする。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ活動や図書館開放を実施できていない。それでも各学年の実態に合わせて購入図書を選定をしながら、学級文庫の充実に努めている。その結果として校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合は目標の86%に達した。10月は、図書委員会を中心に読書月間を計画・実施することで、さらに読書に親しませている。今後引き続き、適宜児童が興味を持てる本や資料を紹介しながら、読むことに対して親しみを持っているように指導・支援していく。	

年度目標	達成状況
<p>心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上</p> <p>全市共通目標</p> <p>○令和2年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○令和2年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p> <p>○令和2年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</p> <p>○令和2年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加（H28:76% H29:75.9% H30:72.7% R1:73.3%）させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和2年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上（H28:89% H29:91% H30:94% R1:91%）にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着とともに、活用力の向上を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、習熟度別少人数学習、放課後学習や家庭学習支援などを行う。</p> <p>指標 令和2年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>令和2年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p> <p>令和2年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</p>	
<p>取組内容②【施策5 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れた授業デザインを構築し、多くの場面で話し合いの場ができるように工夫する。</p> <p>指標 令和2年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加（H28:76% H29:75.9% H30:72.7% R1:73.3%）させる。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。</p> <p>指標 令和2年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上（H28:89% H29:91% H30:94% R1:91%）にする。</p> <p>全教員が一人1回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修会を8回以上行う。</p>	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>② 話し合い活動やグループ活動がコロナウィルス感染症の影響により難しい中、フェイスシールドを使用する等、考えを深める活動の工夫をしている。校内調査の「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできましたか」の項目において、83%が肯定的に答えた。経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目においても、前年度よりも肯定的に答える児童が増えるように、引き続き指導・支援していく。コロナ禍ではあるが、今後も話し合い活動やグループ活動が活発に行えるよう工夫していく。</p> <p>③ 校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合は92%と目標を上回っている。研究授業（4年）後の討議会を10月7日に実施した。今後、計画的に研究授業・研修会を実施していく。</p>	

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和２年度の校内調査における「ＩＣＴを活用した学習はわかりやすい」(H29:95% H30:95%)、「外国語活動は楽しい」(H29:87% H30:94% R1:96%)の項目において、肯定的に答える児童の割合をともに90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策６ 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>ＩＣＴの効果的な活用方法について指導方法（プログラミング学習等）の研究を行い、授業実践を蓄積させていく。</p> <hr/> <p>指標 令和２年度の校内調査における「ＩＣＴを活用した学習はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上（H29:95% H30:94% R1:96%）にする。</p>	B
<p>取組内容②【施策６ 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。</p> <hr/> <p>指標 令和２年度の校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合を90%以上（H29:87% H30:94% R1:92%）にする。</p>	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 校内調査における「ICTを活用した学習はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は94%で目標の90%を上回った。タブレットを用いたり、デジタル教科書を授業に活用したりすることで、児童の学習に取り組む意欲を高めている。また、双方向通信のTeamsを使った活動を積極的に取り組んでいる。（敬老の方に感謝をする会9月25日、全学年Teams接続テスト10月8日・10月9日）</p> <p>② 校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は92%で目標の90%を上回った。朝の時間にモジュール学習を実施することで、外国語に対する児童の興味・関心を高めることに繋がっている。今後、さらにモジュール学習や外国語活動の研究を深め、各学年の学習内容の系統を考える。</p>	

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○令和２年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳び、20m シャトルラン、立ち幅跳びの平均の記録を、前年度よりそれぞれ２ポイント（回）、２ポイント（回）、２ポイント（cm）向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和２年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計得点を、前年度より４ポイント向上（H28:男子 48.14 ポイント、女子 48.71 ポイント H29:男子 49.42 ポイント、女子 52.34 ポイント H30:男子 52.34 ポイント 女子 53.13 ポイント R1:男子 50 ポイント、女子 53.03 ポイント）させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>体育の授業において、敏捷性や跳躍力のアップを目指す取組をする。</p> <p>指標 令和２年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である反復横跳び、20m シャトルラン、立ち幅跳びの平均の記録を、前年度よりそれぞれ２ポイント（回）、２ポイント（回）、２ポイント（cm）向上させる。</p>	
<p>取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>運動やスポーツに興味・関心が高まり、楽しみながら体を動かすことのできる取組を年間通して工夫する。</p> <p>指標 令和２年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計得点を、前年度より４ポイント向上（H28:男子 48.14 ポイント、女子 48.71 ポイント H29:男子 49.42 ポイント、女子 52.34 ポイント H30:男子 52.34 ポイント 女子 53.13 ポイント R1:男子 50 ポイント、女子 53.03 ポイント）させる。</p>	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>コロナ禍、猛暑の中、９月に全学年スポーツテストを実施することができた。体力向上については、10月に計画しているスポーツフェスティバルや11月に計画しているスポーツ集会等を通して図っていく。</p>	